

民主
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年2月15日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一



衆議院議員

民主党静岡県第3区総支部長

小山のぶひろ

氏に訊く

通常国会開会 「東海地震財特法」 成立に全力を挙

「明日の安心と成長のための緊急経済対策」 (第二)

次補正予算)が可決

通常国会は一月十八日に開会されました。まず審議されたのが第二次補正予算で、これは一月二十五日に可決されました。第二次補正予算案は、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」と銘打たれ、事業規模は二十四兆四千億円、国費投入額は七兆二千億円に上ります。日本経済は、統計上では、いくつかの指標において改善の兆しが見られますが、中小企業の皆様にとっては大変厳しい経営環境・資金繰環境が続いております。景気のさらなる悪化・「二番底」を食い止め、景気回復を確かなものとするべく策定されたものです。第二次補正予算の成立後は、平成二十二年度の本予算の審議が行われております。

「東海地震財特法」の成立に向けて全力を挙げる

「東海地震財特法」は、東海地震の被害想定地域内の耐震補強工事を促進するために制定された法律です。被害想定地域内の公立小中学校や、消防施設、社会福祉施設などの耐震補強工事をする際に、国の補助率を高めることなどが定められています。この法律は、昭和五十五年五月に五年間の時限を設けて議員立法(災害対策特別委員会)により制定され、その後、今日まで期限延長されてきました。現行法の有効期限は平成二十二年三月三十一日となっていますが、小中学校をはじめ、まだまだ多くの施設で耐震補強が必要な状況であることから、この法律の継続が求められております。静岡県

からの要望もあり、県内選出の衆参国会議員の中で唯一の災害対策特別委員である私が、県内では中心となつて、現在、「東海地震財特法」の再成立・期限延長に向けて取り組んでおります。法案の原案も準備され、現在、与野党の委員会理事間での折衝が行われております。

鳩山内閣は、「いのちを守る」政治、「いのちを守る」予算を目指しています。鳩山首相は施政方針演説の最後で、阪神淡路大震災の際に目の前で十六歳の息子さんを亡くしてしまった父親のことについて話し、日本の防災・減災に万全を期す決意を述べました。阪神淡路大震災の悲しみを二度と繰り返さないためにも、少しでも被害を少なくするためにも、この「東海地震財特法」はどうしても必要な法律です。政争の具にされることを絶対に避け、法案の成立に向けて、全力で取り組みます。

衆議院議員

小山 展弘



国会見学に見えられた皆様と



号外 静岡3区版

2010年2月15日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

施政方針演説はじめ政府4演説

「いのちを守る」社会を ～人間が人間らしく幸福に生きるために～

鳩山由紀夫総理大臣(代表)は、1月29日衆参両院の本会議で、就任後初となる施政方針演説を行い「いのちを守る」ことを最重要命題として政府の全ての施策を構築し直すことを訴えました。

冒頭、鳩山総理は、「いのちを、守りたい」と切り出し、「未来を担う子どもたちが、自らの無限の可能性を自由に追求していけるそんな社会を築く」と宣言しました。

また、鳩山総理は、
なき富、良心なき快
犠なき宗教)を引き、
な経済が、政治が、
問われている」と呼
の経済をつくりあ



ガンジーの「七つの社会的大罪」(理念なき政治、労働
楽、人格なき教育、道徳なき商業、人間性なき科学、犠
「人間が人間らしく幸福に生きていくためにどのよう
社会が、教育が望ましいのか。今、その理念が、哲学が
びかけました。そのうえで、人間の幸福を実現するため
げることが、この内閣の使命だと強調しました。

また、岡田克也外務大臣は外交演説で「人々が希望を感じずる外交を外務省の総力を挙げて展開していく」、菅直人副総理兼財務・経済担当大臣は財政演説で「知恵を使って新たな雇用・需要を生み出す第3の道を進むべき」、経済演説で「生活の安心と真の豊かさを取り戻すべく、政策を全力で進める」と、それぞれ訴えました。

小山のぶひろ プロフィール

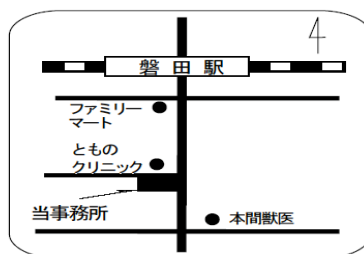
- 1975年 12月26日 掛川市(旧小笠郡 大須賀町)生まれ、磐田育ち。
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園卒園
- 1988年 磐田市立磐田西小学校卒業
- 1991年 磐田市立磐田第一中学校卒業(水泳部所属)
- 1994年 静岡県立磐田南高等学校卒業(弓道部所属)
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程修了(政治学修士)
- 2001年 農林中央金庫(JAバンク)入庫(2006年 退職)
- 2006年 松下政経塾入塾(民主党静岡県第3区総支部長就任により自主退塾)
- 2007年 日本公共政策学会入会(現在、日本公共政策学会員)
- 民主党静岡県第3区総支部長就任
- 2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選
衆議院議員(財務金融委員会 災害対策特別委員会所属)
磐田市中泉(西新町)在住



衆議院議員 小山のぶひろ

民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉(御殿)656-1
TEL 0538-39-1234
FAX 0538-39-1235
E-mail n_koyama@aroma.ocn.ne.jp



※駅南口より
徒歩3分

※ お気軽にご連絡・ご来所ください(磐田駅南口より徒歩3分)。